

## 令和4年度第1回 優良品種・技術評価委員会 議事概要

日時： 令和4年10月24日(月) 14:00～16:00

方法： オンライン開催(Microsoft Teams 使用)

出席した委員(五十音順、\*:委員長)

石栗 太、今泉 裕治\*、大森 龍一、齋藤 正、高橋 誠、蓬田 英俊

事務局

栗田 学、山野邊 太郎

### 議事概要

#### ・申請のあった品種の評価について

無花粉スギ品種として3系統(青森県産業技術センター林業研究所、富山県農林水産総合技術センター森林研究所、東京都農林総合研究センターおよび林木育種センター東北育種場の共同申請2系統ならびに静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター、神奈川県自然環境保全センター、東京都農林総合研究センター、富山県農林水産総合技術センター森林研究所および林木育種センターの共同申請1系統)、マツノザイセンチュウ抵抗性アカマツ品種として申請のあった2系統(林木育種センター関西育種場の申請が2系統)およびマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ品種として申請のあった10系統(林木育種センターの申請が2系統、林木育種センターと千葉県農林総合研究センターの共同申請が1系統および林木育種センター九州育種場からの申請が7系統)が品種評価基準を満たしていると評価されました。

なお、委員からは、実生苗での林業が主である地域においてさし木苗で優れた初期成長を示す無花粉スギが優良品種として開発されたことについて、今後使用され良い造林実績が示されれば、無花粉スギ系統の利用促進のみならず、実生林業地域におけるさし木苗に対するイメージが刷新される可能性がある旨の講評があった。

以上